

## 9月1日・2日 関東ブロックにて「保護司のための SST 研修」を開催しました

【関東ブロック】 更生保護会館 4 F 大会議室

講師：岡田 澄恵氏（SST 普及協会認定講師）、正田 久子氏、

品田 秀樹氏（SST 普及協会認定講師）、河島 京美氏（SST 普及協会認定講師）、

小泉 裕子氏、大山 和子氏、飛田 義幸氏

参加者：29名（水戸2名・宇都宮2名・前橋2名・さいたま3名・千葉3名・東京6名  
横浜4名・新潟2名・甲府1名・長野2名・静岡2名）

全国8か所で実施する保護司を対象とした、平成27年度「保護司のための SST 研修」は、関東ブロックからスタートしました。

まず、初めに緊張をほぐすために、会議室内を移動しながら他県の3人の方と自己紹介を行いました（右の写真がそのウォーミングアップの様子です）。次に、SSTについての



講義（教材「生きる力をつける支援のためにー保護司面接のための SST マニュアルー」第2章・第3章）や講師による SST を入れた場合と入れない場合の面接（職場でのあいさつの仕方）のデモンストレーションを見て、SST の実際を学びました。

その後、グループごとに分かれて体験学習を行いました。



A グループ

2人1組で「職場でのあいさつの仕方」を体験



B グループ

「口が重い対象者との面接」をテーマに SST



C グループ

2人1組で「ほめる」練習

2 日目は、全体で 1 日目の振り返りをした後、問題解決技法の説明と講師によるデモンストレーション（同教材 P 65～72）が行われ、1 日目と同様に 3 グループに分かれ、実際に、課題設定を行い問題解決技法を用いた SST の練習をしました。



問題解決技法を用いた  
講師によるデモンストレーション



A グループ  
課題「対象者自身の居場所を作る」



B グループ  
課題「定職へのモチベーションを上げる」



C グループ  
課題「空白期間を面接で、どう説明するか」

最後に全体で集まり、グループ代表者が演習の発表をし、研修が終了しました。

29名の参加者が、10時間の研修を終え、講師からST普及協会規程初級コースの修了証書が授与されました。研修生からは、「自らのスキルアップを目指して活用したい」「相手の話を引き出すときの、こちらの話し方（会話の仕方）の勉強になった」「面接の方法論、指導の仕方について大いに勉強することができた」等感想をいただきました。